

2010年度環境報告書

1/4

1. 適用対象事業所の概要

当社は、下記の国内3事業所及び蘇州惠普聯電子有限公司を環境管理の管理組織体と称し、4管理組織体毎に、事業活動、製品及びサービス領域における環境マネジメントシステムの確立、運用管理、監視、改善活動を推進し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

[適用事業所]

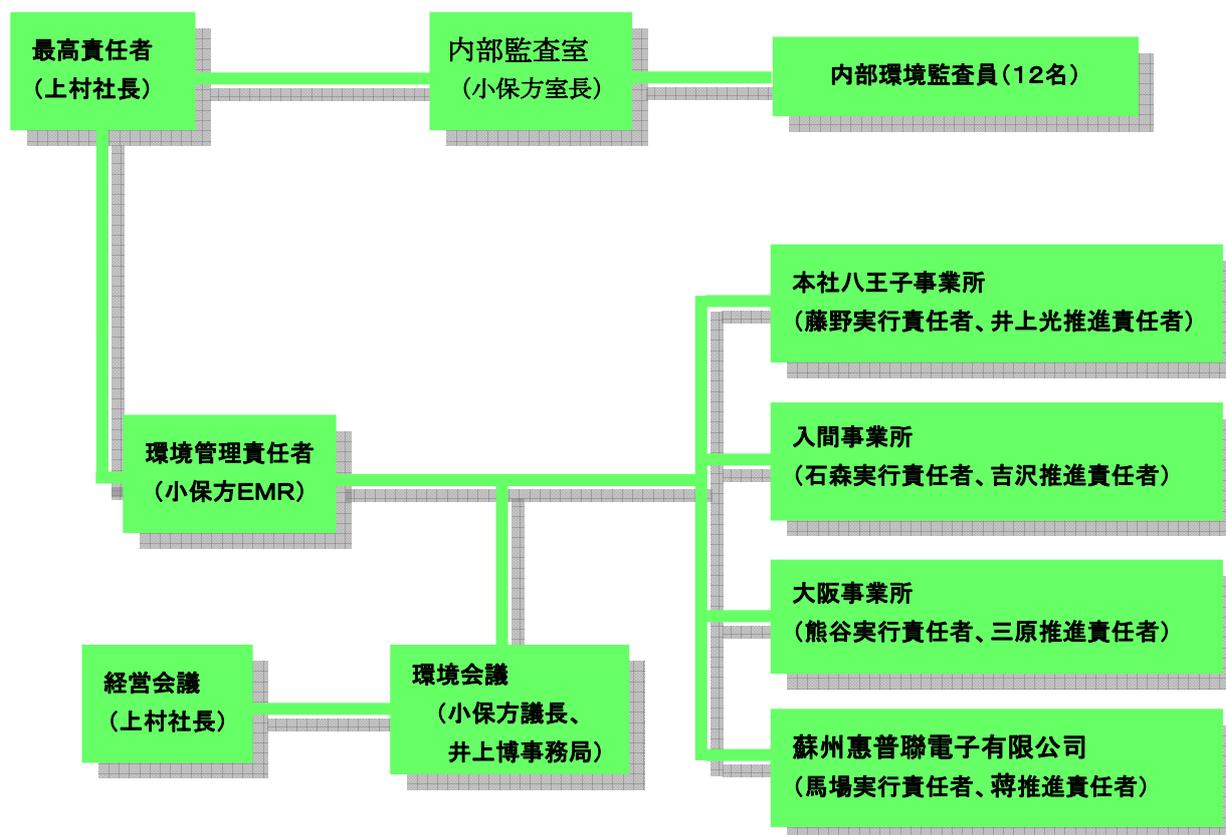
- a. 本社、八王子事業所 b. 入間事業所 c. 大阪事業所 d. 蘇州惠普聯電子有限公司(中国・江蘇省)

2. 環境保全への取組み

1) 環境活動の歩み



2) 環境管理組織(2010年度)



3) 環境方針(2010年度)

<p>環境方針</p> <p>環境理念</p> <p>私達は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題の一つであることを認識し、地球環境保全と将来の世代の夢が守られる持続可能な社会の義務にむけ、積極的に貢献を行っていきます。</p> <p>環境方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータバスシステムに関する事業活動を通じ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量、有機溶剤消費の削減を行い、環境負荷の軽減に努めます。 2. 環境配慮設計及びグリーン調達に取組み、有害物質の使用を避け、RoHS適合製品の提供を推進（鉛フリー等）し、有益な環境側面の創出に努めます。 3. 継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。 4. 法規則、顧客要求・その他要求事項を順守し、環境保全を推進します。 5. 環境目的、目標を設定、運用管理、監視・測定し、必要に応じて見直しを実施します。 環境パフォーマンスの向上のため、定期的なレビューを行い、環境管理システムの改善活動を推進します。 6. この方針は文書化し、実行維持し、全従業員と当社のために働く人に周知徹底します。 また、社外からの人々の要求に対して、開示します。 <p style="text-align: right;">制定 2010年 04月 01日</p> <p style="text-align: center;">エブレン株式会社 代表取締役社長 上村 正人</p>

4) 方針、目的目標及び活動実績の概要

2010年度のISO14001EMS活動は、継続的に2004年規格のマネジメントシステムの運用定着活動と有益な環境側面の創出を含めた環境パフォーマンス向上活動に取り組みました。

推進のポイントは従来同様、継続的に、1つは法規制と同意するその他要求事項の順守活動、2つ目はお客様へ環境に配慮した製品の提供及び製品の規制物質などの有害含有物を削除、削減を行い、RoHS指令等に適合した製品創出活動、3つ目は快適な職場環境の改善実現活動及びオフィス環境の負荷低減、減量、維持管理活動です。特に、本年度も、環境省のチャレンジ25キャンペーン活動に登録して、夏場に「クールビズ活動」、冬場に「ウォームビズ活動」を推進して、電力使用量の削減及びCO2削減に努めました。

更に、廃棄物の処理費用発生から有価物としての売却化に取り組み、プラス成果を得ました。

引き続き、著しい環境側面を踏まえ、有益な環境側面に創出する活動を主軸にしながら、環境への取組みを経営方針の柱の1つとして、事業活動との融合を図り、環境費用の低減と環境保全活動を推進してまいります。

5) 2010年度の実績評価

①改善推進テーマ

推進テーマ	管理組織体	目標値	実績値	判定	達成率
有益な工場環境の実現(HHdiv:モデル工場)	HHdiv	24件の改善実行	28件改善完了	○	117%
	IPlant	24件の改善実行	25件改善完了	○	104%
	Odiv	24件の改善実行	58件改善完了	○	242%
RoHS対応製品の供給	HHdiv	ボード73件,ラック71件RoHS化	144件RoHS化完了	○	100%
	Odiv	対応実施 11件	11件完了	○	100%
	SZE	部品24件以上	24件完了	○	100%
RoHS対応製品の供給(鉛フリー化推進)	SZE	0.35kg以下	0.16kg	○	46%
資源枯渇抑制(ガソリン)	IPlant	7.79km/ℓ以上	8.41km/ℓ	○	108%
資源枯渇抑制(廃棄物/ガソリン/電力)	Odiv	360,000円以下	243,951円	○	68%

②継続監視テーマ

推進テーマ	管理組織体	監視基準値(125%)	前年実績値	実績値	前年比率	判定
RoHS 対応製品の供給 (鉛フリー化推進)	HHdiv	76.1kg	60.8kg	80.3kg	142%	×
	IPant	6.88kg	5.50kg	6.00kg	109%	△
	Odiv	1.25kg 以下	1.00kg	1.00kg	100%	○
資源枯渇抑制 (ガソリン)	HHdiv	10.1km/ℓ以上	12.6km/ℓ	11.2km/ℓ	88%	△
	Odiv	6.40km/ℓ以上	8.00km/ℓ	9.02km/ℓ	113%	○
資源枯渇抑制 (電力)	HHdiv	234,930kWh 以下	187,944kWh	210,074kWh	112%	△
	IPlant	140,694kWh 以下	112,555kWh	132,779kWh	118%	△
	SZE	21,895kWh 以下	17,516kWh	27,351kWh	156%	×
	Odiv	152,154kWh 以下	121,723kWh	133,806kWh	110%	△
資源枯渇抑制 (廃棄物)	HHdiv(産業)	2,011kg 以下	1,609kg	2,146kg	133%	×
	IPlant(産業)	325kg 以下	260kg	260kg	100%	○
	Odiv(産業)	—	—	1,160kg	—	—
	SZE(ダンボール)	16,364 元以下	13,091 円	55,720 円	426%	×
資源枯渇抑制 (有価物)	HHdiv	—	49,112 円	77,725 円	158%	—
	IPant	—	18,601 円	32,966 円	177%	—
	Odiv	—	31,325 円	100,110 円	320%	—
資源枯渇抑制 (用紙)	HHdiv	323,750 枚以下	259,000 枚	276,500 枚	107%	△
	SZE	31,250 枚以下	25,000 枚	24,000 枚	96%	○
資源枯渇抑制 (水道)	HHdiv	469 m ³ 以下	375 m ³	397 m ³	109%	△
	IPlant	239 m ³ 以下	191 m ³	116 m ³	61%	○
	Odiv	1,560 m ³ 以下	1,248 m ³	383 m ³	31%	○

●クールビズ・ウォームビズ活動 効果一覧表						
部門 / CoolBiz	HHDIV	IPLANT	ODIV	国内計	※SZE	Gr.計
削減電力量(KWH)	13,485	▲2,594	14,669	25,560	1,477	27,037
削減経費(円)	269,700	▲51,870	293,380	511,210	29,540	540,750
削減CO2(Kg)	4,571	▲879	4,973	8,665	501	9,166
※算定基準が国内同等である場合						
部門 / WarmBiz	HHDIV	IPLANT	ODIV	国内計	※SZE	Gr.計
削減電力量(KWH)	23,407	13,769	15,995	53,171	▲4,677	48,494
削減経費(円)	468,140	275,380	319,890	1,063,410	▲93,530	969,880
削減CO2(Kg)	7,935	4,668	5,422	18,025	▲1,585	16,440
※算定基準が国内同等である場合						
部門 / 合計	HHDIV	IPLANT	ODIV	国内計	※SZE	Gr.計
削減電力量(KWH)	36,892	11,176	30,664	78,732	▲3,200	75,532
削減経費(円)	737,840	223,510	613,270	1,574,620	▲63,990	1,510,630
削減CO2(Kg)	12,506	3,788	10,395	26,689	1,085	25,604
※算定基準が国内同等である場合						
(国内全社合計、1 KWH=料金：20円～21円、CO2：0.339Kg)						
●廃棄物3R(リユース・リデュース・リサイクル)活動 効果一覧表						
部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	計		
全体排出量(Kg)	3,580	2,246	3,689	9,515		
有価物分別量(Kg)	924	375	1,627	2,926		
有価物割合(%)	25.8	16.7	44.1	30.8		
有償換金(円)	77,725	32,966	100,110	210,801		

④エコキャップ収集活動の成果

●エコキャップ収集活動 効果一覧表					
部門	HHDIV	IPLANT	ODIV	計	
収集量(Kg)	12.5	17.0	9.8	39.3	
収集量(個数)	5,000	6,800	3,920	15,720	
ワクチン(人分)	6.3	8.5	4.9	19.7	
削減CO2(kg)	40	54	31	125	

6) 2011年度の主な取組みテーマ

- a. 継続的に、チャレンジ25キャンペーン活動や各種エコ活動への賛同活動を推進いたします。
特に、新たな推奨テーマの事業所間移動時の「スマートムーブ」の推進、東日本大震災の影響による「夏場の節電対策(スーパークールビズ活動)」に取組む予定です。
(クールビズ活動、ウォームビズ活動の一層の定常的推進)
- b. 本社八王子地区における“モデル工場化”活動を継続し、他事業所に有効展開を図っていきます。
- c. 有益な環境側面の創出活動に、より一層力点をおいた環境活動を推進いたします。
- d. 環境費用の管理方法の調査、情報収集及び低減活動を継続的に推進いたします。